

次世代の総合的な交通体系検討会

第1回検討会

資料－1 本検討会の検討項目と進め方

平成23年12月21日

本検討の背景

- 運輸政策審議会(運政審)答申第18号(2000年1月)における目標年次(2015年)が4年後に迫っている。
- 国勢調査に基づく人口動態やパーソントリップ調査に基づく利用者の行動特性に変化が見られる。
- 厳しい財政状況の中、行政コストの適正化、選択と集中による交通基盤の整備、持続可能な財政運営が求められる。
- リニア中央新幹線の行政手続きが開始されたことや、羽田空港の国際化など交通環境の変化が起きている。

検討会の目的

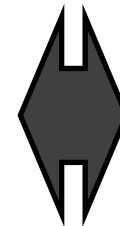
- 横浜市における鉄道の現状を整理するとともに、近年開業した鉄道路線における整備効果を検証し、将来の高齢化・生産年齢人口の減少を見据えた交通（鉄道、バス等端末交通、駅）に関する課題を抽出する。
- 鉄道整備によって得られる効果（速達性やまちづくりなど）の検討を踏まえ、運政審答申路線のうち未着手である路線の必要性や事業の採算性について検討する。
さらに、鉄道・バス等次世代の総合的な交通体系について検討し、方向性を示す。

「検討会」の進め方

- 「検討会」では、それぞれご専門の立場からのご意見を頂く。
検討の深度化を図るため、ワーキングを開催して検討を行う。

検討会

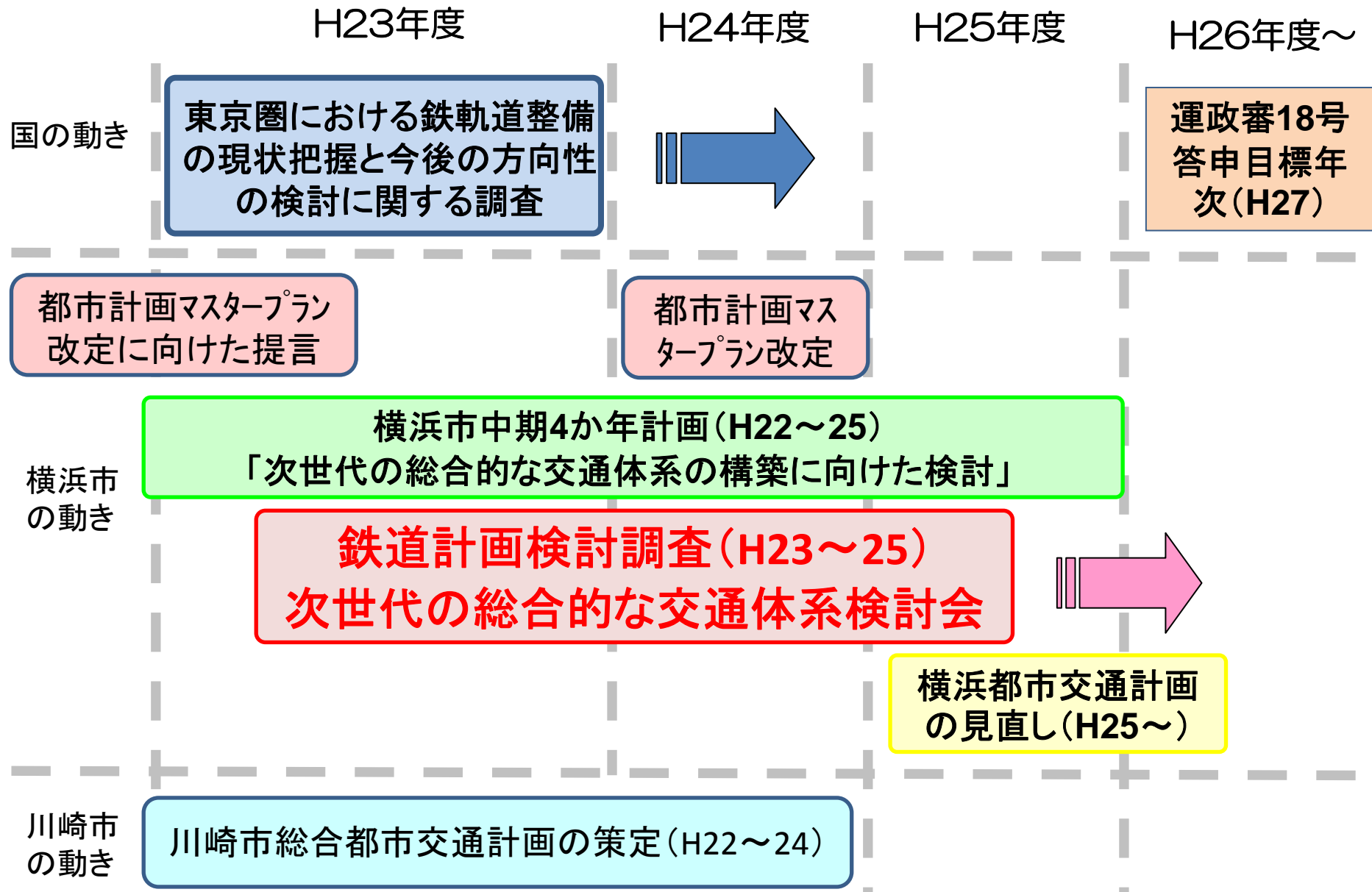
- ◇屋井議長
- ◇岸井教授
- ◇羽田教授、村木准教授、田邊准教授、谷口講師
- ◇神奈川県
- ◇横浜市
- ◇国土交通省(オブザーバー)
- ◇鉄道・運輸機構(オブザーバー)
- ◇横浜高速鉄道(オブザーバー)
- ◇横浜市交通局(オブザーバー)



ワーキング

- ◇屋井議長
- ◇岸井教授
- ◇神奈川県
- ◇横浜市
- ◇国土交通省(オブザーバー)
- ◇鉄道・運輸機構(オブザーバー)
- ◇横浜高速鉄道(オブザーバー)
- ◇横浜市交通局(オブザーバー)

上位計画の動きと検討会のスケジュール



検討項目

1. 横浜市の現状と課題の整理

- ・横浜市の人口・社会経済状況等の動きを整理し、検討の基礎とする

2. 上位計画の整理

- ・横浜市の将来像を把握するとともに、交通に関連する上位計画の概要と変遷を整理する

3. 鉄道の現状と課題の整理

- ・横浜市域を中心とした鉄道の現状及び将来計画を整理し、課題の検討を行う

4. 整備済み路線の検証

- ・横浜市における近年開業した3路線について、利用状況、鉄道整備による効果・影響を検証する

- 横浜市営地下鉄1号線延伸(戸塚～湘南台)(H11.8開業)

- 横浜市営地下鉄4号線(グリーンライン)(H20.3開業)

- みなとみらい21線(H16.2開業)

検討項目

5. 将来を見据えた交通に関わる課題の整理

・横浜の都市づくりの方向性を踏まえ、近年の社会経済状況・交通流動の変化や将来の動向を見据えた交通(鉄道・バス等端末交通、駅)に関わる課題を整理する

6. 運政審答申路線の検討

- ・18号答申における未着手路線の検討を行う
 - 横浜3号線の延伸(あざみ野～新百合ヶ丘)
 - 横浜環状鉄道(仮称)の新設
 - 東海道貨物支線の旅客線化

7. 交通体系のあり方・鉄道整備のあり方の方向付け

・各種の検討結果をふまえ、次世代の総合的な交通体系、鉄道整備のあり方・進め方について検討を行い、方向性を示す

各検討会での議題予定(案)

